

# 祝 地下水族科学館

## もぐらんぴあ

### オープン!

4月23日、ついに「もぐらんぴあ」がオープン!館内には新たな水槽も加わり、被災前と同じ200種3000匹の魚たちが出迎えます。スタッフの皆さんから聞いたオススメポイント、そしてオープン当日を迎えた「もぐらんぴあ」の様子をレポートします。

■営業時間

4月～10月	9:00～18:00
11月～3月	10:00～16:00

※入館は閉館 30分前まで

■休館日


月曜日(休日の場合はその翌日)  
1月1日及び12月31日

■利用料金

	小・中学生	高校生・学生	一般
個人	300円	500円	700円
年間パス	600円	1,000円	1,400円
団体 (20人以上)	200円	300円	500円


地下水族科学館 石油文化ホール  
もぐらんぴあ  
待浜町麦生 1-43-7 TEL 75-3551

●久慈の海コーナー



地元の海をテーマに、スタッフ自ら捕った魚も飼育されています。大型水槽では、土・日・祝日に南部ダイバー(11:30～)と海女さん(13:30～)の実演が行われます。

●管理棟



1 F…受付・産地直売施設  
2 F…石油文化ホール  
シアター・展示室  
3 F…防災展示室あーすぴあ  
4 F…企画展示室・さかなクンコーナー  
屋上…展望台



管理棟は展望台になっていて、久慈湾を一望できる眺望スポット。天気が良ければ、小袖海女センターも見えるかも…。



アクアホールでは水槽いっぱいのミズクラゲをライトアップ!神秘的な眺めのクラゲ・イルミネーションはオススメです。

石油文化ホール

久慈の海タッチプールでは、カニやヒトデ、マドカリなど、久慈の磯に住む生き物たちに直接に触れることができます!

クラゲコーナーの先はクラゲの繁殖なども行うバックヤード。クラゲは傷つきやすいので、飼育にはいつも気を使います。

メキシコ湾からやってきた不思議な生き物ダイオウグソクムシ。あまりに動かないので元気がどうかもよくわからないとか。


熊野灘水槽に住むマツカサウオやウツボは、復興支援として三重県の島羽水族館・志摩マリンランドからいただきました。

●クラゲコーナー




長崎から来たエチゼンクラゲや、加茂水族館からいただいたパラオ産ミズクラゲ、地元産のエダクダクラゲ・サルシアクラゲなど、多種多様なクラゲを展示しています。

●深海コーナー




普段はなかなか見ることができない深海生物たちを展示。脚の長いタカアシガニやアンモナイトのようなオウムガイなど、ちょっとマニアックな生き物に注目です。

●トンネル水槽



海中洞窟をイメージした10mのトンネル水槽には南の海の魚たちが泳いでいます。マリエントから里帰りのアオウミガメのカメ吉くんにも会いにきてください。

●日本の海コーナー



南は沖縄県石垣島のチンアナゴやナンヨウハギ、北は北海道オホーツクのクリオネやオオカミウオを展示。南北に長い日本の海の多様性を実感できる水槽です。